

## 指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和2年度分）

施設	名称	栃木市いわふねフルーツパークセンター
	所在地	栃木市岩舟町下津原1587
	施設内容	都市農村交流施設
指定管理者	名称	株式会社 観光農園いわふね
	所在地	栃木市岩舟町下津原1585
	主な業務内容	・農産物の生産、販売 ・農産物の直売施設の設置運営 ・観光農園の経営 他

## (1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名	計画値	実績値
	アンケート数	500件	137件
	利用者意見反映数	10件	8件
	利用案内掲示数	4か所	4か所
	利用者満足率	80%	80%
	業務改善数	3件	3件

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅲ	0.6	15

指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の設置目的に基づく管理運営を行っています。</li> <li>・直売所や弁当工房、運営する観光農園のフルーツ狩り等のぼり旗のデザインを工夫し、来場者に店舗の業務内容を明確に示しました。</li> <li>・館内を巡回するとともに、来場者の意見等に耳を傾け、指摘を受けた内容については、スタッフ間で把握し、適宜対応に努めました。</li> <li>・アンケート数が目標値を下回ってしまったのは、コロナ禍で、運営する観光農園いわふねのイベント自粛に伴い開催できなかったことが原因の一つです。実績の数値は、直売所内で、毎月実施している「マルシェの日」の来場者に呼びかけたものです。今後は店内にアンケート用紙を常設して通年で調査を実施し、回収率アップにつなげていくように努めます。</li> </ul>
-----------	---

施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者である観光農園いわふねの自主事業となるいちごやぶどう狩り等の体験農園施設と併せて整備された施設であり、個人客からバスツアーの団体客、さらに外国人も含め多種多様な来客があります。多い時には大型バスが連続して来園する施設ですが、目立った苦情もなく、指摘された内容については迅速に対応し「おもてなし」をしており、適切に管理されています。</li> <li>・本年度は、新型コロナウイルスの影響により来場者が減少し、アンケート数が少なくなりましたが、利用者の意見を反映することにより、利用者満足率は達成することができています。</li> </ul>
-----------	---

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	利用者数		320,000人		228,598人		
	入込数のアップ		5%up		△28.5%		
	イベント実施数		6回		12回		
	イベントチラシ発行回数		6回		12回		
	協働等事業参加者数		延べ60人		延べ60人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<p>・今年度（レジ通過者数）は、コロナウィルスの影響による緊急事態宣言が発令され、当社経営の観光農園でのいちご狩りの団体バスのキャンセルに伴う来場者の激減により計画値を下回る結果となりました。</p> <p>・施設の充実のほかに、ホームページの更新回数の増加、SNS等など情報発信に力をいれ今後もさらなる努力をしていきます。</p> <p>・開館時間をこれまで、夏期・冬期と区分していましたが、利用者の利便性の向上を図るべく、閉店時間を通年で統一しました。</p> <p>・コロナウィルスの感染拡大防止によるイベント自粛のため、例年当社のフルーツ狩りに合わせたイベントは開催できませんでした。代わりに、毎月農産物直売所でスタートした月変わりの他県物産展などを展開し、新規利用者の拡大に努めましたが、利用者数は、目標値を大幅に下回る結果となりました。次年度は、さらなる拡充新規利用者の増加に向けて努力していきます。</p>						
施設所管課コメント	<p>・今年度の利用者は、コロナウイルス感染症の影響により減少していますが、イベントの実施数は計画値を超過達成しており、今後もコロナウイルス感染症への感染防止対策を万全にし、継続して取り組んでいただきたいです。</p> <p>・利用時間についても利用者の利便性を考え通年で統一しており、コロナウイルス感染症の終息後を見据えた集客の拡大をお願いしたいです。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	事務経費削減額		69,000円		454,629円		
	事務経費削減率		1%		9.3%		
	見積合せ実施数		3件		3件		
	施設修繕数		5件		3件		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理料および施設使用料の収支手続きは適正に行いました。撤退したパン工房については、現在新規事業者を探しているところです。その店舗分の電気料金等は、会社負担として処理をしました。</li> <li>・修繕箇所の見積額が大きくなったものは、市の予算で修繕を行いました。コロナ禍により、イベント自粛等により、駐車場誘導などの委託業務の支出は削減することができましたが、年間をとおしてみている中で、経年劣化による修繕箇所は今後も増えていく可能性があります。より計画を熟考して支出を精査しながら削減に努力を重ねていきます。</li> <li>・利用者の安心安全およびサービス低下にならないように、市と協議しながら計画的な維持管理を図りたいと思います。</li> </ul>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の削減額、削減率共に目標を超過達成しており、今後も継続した努力をお願いしたいです。しかしながら、施設利用者へのサービス低下にはつながらないように十分に配慮をしたうえで取り組んでいただきたいと思います。</li> <li>・経年劣化の修繕箇所については、計画を策定の上一時期に重ならないように事前に協議いただきたいと思います。</li> </ul>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			常時4人	常時4人	
	研修会開催数			1回	1回	
	研修会参加者数			15人	15人	
	勤務時間数(1人当り)			40時間/週	40時間/週	
	経常収支比率			100%	19.8%	
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	IV	0.4	8	IV	0.4
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な管理運営のための従業員の研修や適正な人員の確保と安定した施設運営を遂行しています。</li> <li>・経常収支比率100%を目指すうえで、まだまだ厳しい経営努力が必要です。</li> <li>・社員の保険料や各種税金等は、適切に納めています。</li> <li>・健康診断(生活習慣病検診)の助成で社員の健康面の把握および、検診結果後の改善アドバイスの受講を促しています。</li> </ul>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理運営を実施していくために、適正な人員配置および研修がされています。</li> <li>・従業員間の情報共有もしっかりされています。</li> <li>・経常収支比率が非常に厳しい数値となっている為、経営努力が望まれます。</li> </ul>					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	安全点検実施回数		2回/年		2回/年		
	事故発生件数		0件		0件		
	訓練実施回数		1回		1回		
	訓練参加者数		30人		30人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・併設する「栃木市岩舟農村環境改善センター」と併せて防火管理者を定める等、事故防止に努めています。栃木市消防署の署員を講師に迎え、消火器操作による防火訓練、避難訓練を実施し同施設に関する職員および各施設従業員と合同で研修会を開催しました。</li> <li>・個人情報保護の方針に従い、適切に行っています。</li> </ul>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の点検がしっかりされており、防火訓練や避難訓練等も行なうなど、非常時の備えを整えています。</li> <li>・各テナントにも目を配り、必要あるときは迅速に対応ができています。</li> </ul>						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	20	15	
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	12	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12	
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	8	8	
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	16	16	
評価点合計	100	72	63	
総合評価		B	C	

第3次評価（選定委員会評価）	
選定委員会コメント	

## (4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

## ⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	3年3月	2年3月	31年3月
資産総額	104,857,586	109,822,815	71,248,227
売上高	169,794,962	124,352,863	157,094,307
経常利益	△51,522,236	44,172,635	△9,522,978
当期利益	△51,853,336	44,503,735	△9,732,478
経常収支比率	19.8%	27.7%	48.7%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入れをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	3年3月	2年3月	31年3月
経常費用	95,405,316	77,508,388	67,413,107
経常収益	18,878,534	21,492,047	32,807,101
経常収支比率	19.8%	27.7%	48.7%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

## 指定管理者コメント

企業母体としての経常収支比率は、厳しい結果となったが、指定管理を運営していく上で、経年劣化による修繕費また維持補修費の支出が否めないところだが、今後も計画性を持ち、所管課のアドバイスを受け、さらなる企業努力をしていきたい。